

自分を変える

自動車は、生活していく上で、あるのが当たり前の存在になっており、今やなくてはならない乗り物となっています。しかし、何気なく普通に運転している自動車が、時には走る凶器となり、人の生命を一瞬にして奪い、また運転している人も自ら命を落とすこともあります。自動車を運転することは、常に危険と隣り合わせなんだということをまず認識して頂きたいと思います。

ハンドルを握るということは、それに伴う重大な責任があり、言い方を変えれば、毎回の運転が真剣勝負だと私は考えております。

自動車を運転する場合は、落ち着いた精神状態を保持することは勿論ですが、日常点検をし、目的地に着くまで安全運転していくことは当然のことです。

過日、若者が深夜に飲酒運転で、しかも速度超過をした無謀運転により重大事故を引き起こした事案が発生しました。

その残虐さは、もはや交通事故ではありません。重大な交通犯罪であります。命を奪われた遺族のことを考えれば厳罰にと希望するでしょう。そんな不幸な交通事故を起こしてはならず、又、起こさないよう自らの心を戒め、安全運転に対する意識を変えていく必要があると思います。

中央研修所では一般道路を想定した危険場面を安全に体験する研修になっております。研修を通して、自らの運転技術で事故を回避出来るのか、また自動車の危険性を体験してもらい今までの自動車に対する意識を変えるチャンスだと思います。

心が変われば行動が変わります。意識を変えて自分の運転行動を変えて頂き、事故のない安全で快適な交通社会を実現していけることを願っております。

是非とも機会がありましたら中央研修所へお越しくください。



実技教官

清水 誠